

南丹圏地域リハビリテーション支援センター
令和7年度 第3回 事例検討会

開催日時

11月27日
13:30 木
~15:00

腸からはじめるフレイル対策
～ビフィズス菌と腸内フローラ～

事例からみる食事動作の多角的アプローチ

講師：森永乳業クリニコ 管理栄養士 梶巻早耶香氏
京都中部総合医療センター 作業療法士 深見智子氏

高齢者の健康維持やフレイル・サルコペニア予防において、栄養と身体機能の両面からの支援が重要です。本検討会では、「からだの中」と「食べる動作」の両側面に焦点をあて、日々の支援に活かせる知識と実践のヒントを学びます。

前半では、腸内環境が筋肉量に与える影響、食事・生活習慣による改善のポイントを解説します。後半では、食事を通じて日々の生活の質を高めることを目的に、上肢機能、自助具の活用、摂食嚥下機能、認知機能などさまざまな視点から、現場で実践できる支援方法を学びます。

参加対象：医療・介護・福祉に関わる全ての職種の方

参加費：無料

参加方法：下記QRコードよりお申込みいただくか、
Email・FAXにてご連絡ください。



皆さまのご参加を
心よりお待ちしております。

お申し込みは
こちらから



【お問い合わせ先】

京都中部総合医療センター リハビリテーション科内
南丹圏地域リハビリテーション支援センター
TEL: 0771-42-2510 (代) FAX: 0771-42-2528
Email: rehashien@kyoto-chubumedc.or.jp
担当：谷本